

【 基準1 教育理念・目的・育成人材像 】

1: 適切 2: ほぼ適切 3: 普通 4: やや不適切 5: 不適切

点検中項目【1-1】	理念・目的・育成人材像は定められているか
	評価 : 1
点検中項目【1-2】	学校の特色は何か
	評価 : 1
点検中項目【1-3】	学校の将来構想を抱いているか
	評価 : 1.5

【 基準2 学校運営 】

1: 適切 2: ほぼ適切 3: 普通 4: やや不適切 5: 不適切

点検中項目【2-4】	運営方針は定められているか
	評価 : 1.25
点検中項目【2-5】	事業計画は定められているか
	評価 : 1.25
点検中項目【2-6】	運営組織や意志決定機能は、効率的なものになっているか
	評価 : 1.5
点検中項目【2-7】	人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか
	評価 : 1.25
点検中項目【2-8】	意志決定システムは確立されているのか
	評価 : 1.5
点検中項目【2-9】	情報システム化等による業務の効率化が図られているか
	1.5

【 基準3 教育活動 】

1: 適切 2: ほぼ適切 3: 普通 4: やや不適切 5: 不適切

点検中項目【3-10】	各学科の教育目標、人材育成像は、その学科に対応する業界のニーズに向けて正しく方向づけられているか
	評価 : 1.25
点検中項目【3-11】	各学科の教育目標、人材育成像を構成する知識、技術、人間性等は、業界のニーズレベルに照らして、また、学科の教育期間を勘案して、到達することが可能なレベルとして明確に定められているか
	評価 : 1.25
点検中項目【3-12】	カリキュラムは体系的に編成されているか
	評価 : 1
点検中項目【3-13】	学科の各科目は、カリキュラムの中で適切な位置づけをされているか
	評価 : 1.25
点検中項目【3-14】	授業評価の実施体制はあるか
	評価 : 1.25
点検中項目【3-15】	育成目標に向けて授業を行なう事ができる要件を備えた教員を確保しているか
	評価 : 1
点検中項目【3-16】	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか
	評価 : 1
点検中項目【3-17】	資格取得の指導体制はあるか
	評価 : 1
点検中項目【3-18】	地域社会との連携や地域性を生かした教育活動が行なわれているか
	評価 : 1.25

【 基準4 教育成果 】

1: 適切 2: ほぼ適切 3: 普通 4: やや不適切 5: 不適切

点検中項目【4-19】	就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか
	評価 : 1
点検中項目【4-20】	資格取得率の向上は図られているか
	評価 : 1
点検中項目【4-21】	退学率の低減が図られているか
	評価 : 1.75
点検中項目【4-22】	卒業生・在学生の社会的な活躍、評価を把握しているか
	評価 : 1.25

【 基準5 学生支援 】

1: 適切 2: ほぼ適切 3: 普通 4: やや不適切 5: 不適切

点検中項目【5-23】	就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか
	評価 : 1
点検中項目【5-24】	学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか
	評価 : 1
点検中項目【5-25】	学生の経済側面に対する支援が全体的に整備され、有効に機能しているか
	評価 : 1
点検中項目【5-26】	学生の健康管理を担う組織体制があり、有効に機能しているか
	評価 : 1.25
点検中項目【5-27】	課外活動に対する支援体制が整備され、有効に機能しているか
	評価 : 1.25
点検中項目【5-28】	学生寮等、学生の生活環境への支援は行なわれているか
	評価 : 1.4
点検中項目【5-29】	保護者と適切に連携しているか
	評価 : 1.4
点検中項目【5-30】	卒業生への支援体制はあるか
	評価 : 1.4
点検中項目【5-31】	留学支援や海外との連携による国際教育交流の体制があるか
	評価 : 2.4

【 基準6 教育環境 】

1: 適切 2: ほぼ適切 3: 普通 4: やや不適切 5: 不適切

点検中項目【6-32】	施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるように設備されているか
	評価 : 1.75
点検中項目【6-33】	学外実習、インターンシップ、宿泊研修等について十分な教育体制が設備されているか
	評価 : 1.5
点検中項目【6-34】	防災に対する体制が整備されているか
	評価 : 1.5

【 基準7 学生の募集と受け入れ 】

1: 適切 2: ほぼ適切 3: 普通 4: やや不適切 5: 不適切

点検中項目【7-35】	学生募集活動は適正に行なわれているか
	評価 : 1

点検中項目【7-36】	学生募集において教育成果は正確に伝えられているか
	評価 : 1

点検中項目【7-37】	入学選考は、適切かつ公平な基準に基づき行なわれているか
	評価 : 1

点検中項目【7-38】	学納金は妥当なものとなっているか
	評価 : 1.25

【 基準8 財務 】

1: 適切 2: ほぼ適切 3: 普通 4: やや不適切 5: 不適切

点検中項目【8-39】	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか
	評価 : 1.25

点検中項目【8-40】	予算・収支計画は有効かつ妥当なものになっているか
	評価 : 1.25

点検中項目【8-41】	財務について会計監査が適切に行なわれているか
	評価 : 1.25

点検中項目【8-42】	財務情報公開の体制設備はできているか
	評価 : 1.5

【 基準9 法令等の遵守 】

1: 適切 2: ほぼ適切 3: 普通 4: やや不適切 5: 不適切

点検中項目【9-43】	法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか
	評価 : 1.25

点検中項目【9-44】	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか
	評価 : 1.25

点検中項目【9-45】	自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか
	評価 : 1

点検中項目【9-46】	自己点検・自己評価結果の公開をしているか
	評価 : 1

【 基準10 社会貢献 】

1: 適切 2: ほぼ適切 3: 普通 4: やや不適切 5: 不適切

点検中項目【10-47】	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行なっているか
	評価 : 1

点検中項目【10-48】	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか
	評価 : 1.25

会議議事録

委員会	2022年度 学校関係者評価委員会
学校名	東洋きもの専門学校
会議名	第6回 学校関係者評価委員会
開催日時	令和4年 7月13日(水) 18:00~19:30
場所	東洋きもの専門学校 302・303号室
出席者	<p>◇委員長 ・小寺 克一 (東洋きもの専門学校校長)</p> <p>◇委員 ・須内 克典 (大阪府立鶴見商業高等学校 校長) ・藤岡 将 (アトリエシルク千林店 ジェネラルマネージャー) ・中尾 誠美 (東洋学園高等専修学校 進路指導部長) ・十石 尚子 (東洋きもの専門学校卒業生 和裁士・着付師)</p> <p><欠席> ・吉村 隆介 (株式会社吉村商店 代表取締役社長)</p> <p>事務担当 説明者 ・伊藤 (東洋きもの専門学校 副校長)</p> <p>司会 ・中永 (東洋きもの専門学校 教員)</p> <p>書記 ・田中 (東洋きもの専門学校 教員)</p> <p>記録 ・林 (東洋きもの専門学校 教員) ・木村 (東洋きもの専門学校 教員)</p> <p style="text-align: right;">合計 10名出席</p>

議案	<p>協議 I</p> <p>①令和3年度学校評価結果報告 ・アンケート結果について 「現状と今後について」</p> <p>②学校概要について ・今年度の本校の取り組みについて</p> <p>③今年度の重点目標について ・教育活動・教育成果・学生支援・教育環境 ・募集活動と受け入れ</p> <p>④意見交換</p>
----	--

内容

・学校長挨拶

協議 I

①令和3年度学校評価結果報告

・アンケート結果について

[伊藤副校長より]・・・レジュメ「学校評価結果より 現状と今後について」にそって説明

・ 基準1・基準3について

令和4年度より、社会のニーズに合わせ、業界での即戦力につながるよう、各コースに特化した授業を大幅に増やしたカリキュラムに学則を変更した。

又、令和5年度より、1年生学科の新設を予定している。リカレント教育や、経済的理由などにより長期的な学びが困難な人、まだ目標が定まらないが専門的な知識を身に着けたい人たちを対象としている。

・ 基準4について

一昨年は、コロナの影響により、検定対策がなかなかできなかったが、昨年度は計画的に講習会等を行い合格率アップにつながったものもある。本年度はさらにアップしていきたい。

卒業学年の就職に関しては、就職希望者8名中、現在2名内定している(松竹衣裳・スタジオ関係)

エントリー中も2名おり、希望者全員が就職できるようアドバイスを行いサポートしていきたい。

・ 基準5について

今年度より学生の自主性を育てるため、担任制から担当制に変えた。学生の混乱を招かないよう満足のいくサポートを行っていきたい。

・ 基準6について

一昨年度はコロナの影響により学外での学びの場が少なかったが、昨年度は実施状況を見つつ、各学年に合わせて実施した。本年度は予定通り実施出来ている。

自分のデザインしたものが商品化され販売されている百貨店でのインターンシップを行った。

6・7月には高校へ着付け講習会及びゆかた着付の実施。 11月には三重県の工房等に見学を予定している。

・ 基準7について

コロナにより地方からの体験入学などの人数は減少した。HPやSNS等にさらに力をいれて入学生の増加につなげたい。

・ 基準10について

7月25日 天神祭りの「陸渡御列」巡行者の着付けを行うことになっている。

[質問・意見]

[須内] 授業のカリキュラムはどうなっているのか。大学の様に空き時間があるのか？

[伊藤] 週5日(月曜日～金曜日) 1時間目～4時間目 85分授業をおこなっている。
行事等でイレギュラーなこともあるが、夏・冬・春休みの長期休暇の他は、上記のカリキュラムである。

[須内] 評価についてはどのようにされてい有るのか？

[伊藤] 前期と後期に分けて、評価している。授業日数の90%以上出席とする。
出席率20%・80%は教科にもよるが、ペーパーテスト・実技・レポート提出物等で評価する。
5段階評価で成績をつけている。

内容

協議Ⅱ

②学校概要について

・今年度の本校の取り組みについて

[伊藤副校長より]・・・レジュメ「今年度の取り組み」にそって説明

- ★ 令和5年度より1年制学科「きもの基礎科」を新設する。
リカレント・経済的に困難な人に向けて専門的な知識をきっちり学ぶことが出来る。自分が進みたい方向に合わせて選択できる科目もあり1年間でも即戦力として活躍できる人材の育成を目指す。
1年間の学びだけでも、きもの種類やTPOが分かり、基本的な和裁や着付けが出来るようになる。
- ★ 学生の自立心向上に向けて、担任制から担当制にした。
- ★ 産地や工房など知識を必要とされる学びを実施し、学外学習の充実を図る。
毎年行う芸術鑑賞においては例年通り実施し、工場見学・研修旅行においては、各学年ごとに学びに応じた研修を行っている。本年度は、産学協同事業として取り組んだ「浪華本染め」の伝統工芸展へ見学にいった。
- ★ 7月19日には大阪堺地場産業から、染の講習と実演にきていただく。そこに就職した卒業生も指導に来る。
伝統工芸士を目指し頑張っている先輩にきてもらうことは学生にとっても良い刺激となると思う。
- ★ 第62回東洋コレクションを、10月29日(土)T・Bホールにて開催する。
企画委員を中心に進めている状況。

[質問・意見]

[中尾] 担任制から担当制に変えて学生の反応はどうか？

[伊藤] 今の2・3年生はまだ担任制の名残もあるが、各教科や集まりなどの連絡事項については、「掲示板」とおして周知することになっている。今まで担任をお母さんのように頼っていた学生も、学生自身考え、動くようになってきた。

[校長] 1年制学科については、きものに興味がない人にも向けている。入学してからもっと学びたいという人には二年制への編入なども用意されている。実技も多くあるので、1年間学ぶだけでも重宝される人材になる。その知識や技術をどう生かしていくか！自分を売りこむ努力も必要になってくる。

協議Ⅱ

③今年度の重点目標について

・教育活動・教育成果・学生支援・教育環境

・募集活動と受け入れ

[伊藤副校長より]・・・レジュメ「重点目標」にそって説明

- ・ カリキュラムについては各コース就職に向けて組んでいる。
国家検定専攻においては縫製時間を増やし、コーディネーター専攻はスタイリスト・コーディネーターとして活躍できるよう写真撮影までの一通りができるような内容である。
意匠デザイン専攻は、きものに仕立てあがった時に美しく見えるよう和服の知識をしっかりと学び、商品化できるデザインに仕上げられようカリキュラムが組まれている。履歴書に充実した内容が書ける。引き続き力を入れていく。
- ・ 検定試験の取り組みにおいては、合格率UPに向けて講座等充実させていきたい。
就職においては、早期内定が取れるよう指導強化に努めたい。
- ・ 学生支援においては、明確な担当別をすすめ、学生の自立心向上に努める。

- ・ 学生募集については、HPの検討 SNS等などを有効に認知度アップを図る。

内容

④意見交換

- 〔校長〕 仕事をする上で、学校で学んだ事がどう生かされているか？
- 〔十石〕 着付けをする際に、持って来られたきものを一目見て話ができることが、お客様の喜びに繋がっている。
- 〔校長〕 今はどんなお仕事をされていますか。
- 〔十石〕 着付けに関しては派遣に所属しており、振袖の前撮りの着付けなどを行っている。
- 〔伊藤〕 以前、本校は和裁を主に指導してきたが、着付けを学ぶ事によってどのように仕立てたら着る人にとって着やすいものになるのかを知ることができている。きもの全般を学ぶ事が大切である。
- 〔校長〕 芸能界であったり影響力のある人の着付けが出来るといいですね。時代劇も人気復活してきているのでその着付けを行う機会も狙ってほしい。
最近ゲームソフトでも着物をアレンジしたものも多い。本校は、きものを多方面から学ぶカリキュラムが組まれているので、色々な職種を考えられるのが売りである。
- 〔須内〕 募集活動においては、中学生の普通科試行により、どうやって商業科・工業科に目を向けてもらうかが、課題である。
- 〔藤岡〕 経営している美容院にもOGが来店されている。姉妹で同じ学校に通われるケースが多いように思う。
制服の可愛さや学校生活の楽しさが中学生の高校を選ぶ理由なのでは？
美容室でも、スタッフ募集にあたり、現場の声を軽視できないのが現状である。
- 〔須内〕 公立高校の募集活動については生徒を交えてヒヤリングをし、説明会にも同席してもらい、学校の良さをアピールしてもらっている。
- 〔伊藤〕 本校でも体験入学等には、学生に参加してもらっている。教員に聞きにくいことでも学生に色々と質問されているようである。良き広報としての役目をはたしてくれている。
- 〔校長〕 定員割れや魅力発信については、課題を抱えているのは何所もおなじである。
力を合わせていけたらと思う。